

将来世代応援に向けたひろしま声明

新型コロナウイルスによって、人と人との接触が制限され、今まで当たり前だった、人とのコミュニケーションや出勤・登校ができなくなるなど、様々な社会的課題が発生するとともに、東京一極集中やデジタル化の遅れなどの問題も顕在化している。

我々は、既成概念にとらわれず、「ピンチをチャンス」に変える発想をもって、これらの課題に対して取り組み、持続可能な社会を築いていかなければならない。

こうした中、現在、全国各地において変異株の確認や急速な感染拡大、重症例の増加などが見られ、新型コロナウイルスの感染は従来とは異なる局面に入ったと考えられる。

我々18名の知事は、こうした危機感を共有し、全力で立ち向かうために、次のことに取り組む。

我々は、

- 一 未来を担う次の世代のため、積極的疫学調査やPCR検査等の徹底、病床の確保をはじめ、あらゆる手段を用いて感染の抑制と医療危機の回避に取り組む。

また、新型コロナウイルスが収束した先にあるのは、ビフォーコロナの社会ではない。

ニューノーマルの生活やビジネスなど、これまでのレガシーや価値観にとらわれない発想が求められる社会であり、新時代を担うデジタルネイティブ世代が、自ら考える力や価値を創造する力を身に付け、活躍できる環境を創っていく必要がある。

我々18名の知事がトップランナーとなることで、こうした情勢変化にいち早く対応し、日本を引っ張っていくとともに、孤立・孤独を防ぎ、不安に寄り添い、将来に夢や希望を持てるような社会を実現するために、次のことに取り組む。

我々は、

- 一 全ての子どもたちが、家庭の経済的事情等に関わらず、安心して健やかに成長し、自らの能力と可能性を最大限に高められるよう、考える力や価値を創造する力を育てる教育機会を提供する。
- 一 若い世代の結婚、妊娠・出産に関する希望が叶い、全ての子育て家庭が孤立することなく、安心して子育てができるよう、社会全体で子どもや子育て家庭を見守る環境づくりに取り組むとともに、デジタル技術も活用し、必要な支援を確実に届ける。
- 一 一人ひとりが持つ能力を十分に発揮できるよう、時間や場所に限定されないテレワークや副業・兼業、組織に属さないギグワークなど、これまでの既成概念を超えた、多様な働き方を安心して選択できる社会を実現する。
- 一 企業や地域などの多様な主体と一体になり、誰もが、希望する自分のライフイベントと両立しながら、安心して働き、意欲を持ってそれぞれの能力を発揮することができる社会環境を確立する。
- 一 「ワーケーション」や「二拠点居住」など新たなライフスタイルを提案するとともに、地方への移住・定住など、新しいひとの流れの創出を強く推し進め、東京一極集中から脱却し、適散・適集社会を実現する。
- 一 社会の分断や軋轢が生まれぬよう、多様性や包容力を大切にし、お互いを思いやることができる社会を実現する。

以上、我々はここに宣言する。

令和3年4月13日 日本創生のための将来世代応援知事同盟